

学力検査問題

国語

注意

- 一 指示があるまでは、検査問題を開いてはいけません。
- 二 検査問題は表紙を除いて七ページで、問題は から まであります。
- 三 答えは、全て解答用紙に記入しなさい。
- 四 字数を指示した解答については、句読点、かぎ（ ）なども一字に数えなさい。

一

次の①～⑩の傍線部について、漢字は平仮名に、片仮名は漢字に改めなさい。

- ① 何事にも懸命に努力する。
- ② 住民に協力を要請する。
- ③ タオルを水に浸す。
- ④ スポンの裾を上げる。
- ⑤ 打球の軌跡が弧を描く。
- ⑥ 食後に食器をアラう。
- ⑦ 紅茶にサトウを入れる。
- ⑧ バスのウンチンを支払う。
- ⑨ 富士山にトウチヨウする。
- ⑩ 趣味に時間をツイやす。

二

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して
掲載を控えています

「願いながら、祈りながら」(乾ルカ)による。

(注) ねめつける¹にらみつける。

生田羽村²少年たちが住む村の名。

神童³能力が極めて優れている子ども。

ビート⁴野菜の一種。

問一 未来¹と同じ構成の熟語を、ア〜エから選び、符号で書きなさい。

ア 起伏 イ 佳作 ウ 非常 エ 打撃

問二 浮かび上がる²の主語を、本文中から一文節で抜き出して書きなさい。

問三 学は打ちひしがれたみたいにうなだれた³とあるが、このときの学の気持ちとして最も適切なものを、ア〜エから選び、符号で書きなさい。

ア 周りの大人たちでさえ自分のことを理解してくれていたのに、親友だと思っていた憲太が自分のことを誤解していることに気づき、あきれている。

イ 憲太の意見が正しいものであることは分かっていたが、一方的にその考えを主張しようとする憲太の態度に嫌気がさしている。

ウ 憲太は成績が落ち込んだ原因は学自身にはないとかばつてくれたのに、その心遣いを素直に喜ぶことができない自分を情けなく感じている。

エ 自分にとって特別な存在だと感じている憲太の言葉を支えとして頑張ってきたが、その憲太自身に自分の言葉を批判されて落ち込んでいる。

問四 雷に怯えて目を閉じ、耳をふさいでいた、遠い日のように⁴の中から形容詞をそのまま抜き出して書きなさい。また、この場合の活用形を書きなさい。

問五 おまえの本当にすごいところ、別にあるのを知ってる⁵とあるが、憲太は、学の本当のすごさはどのようなところにあると考えているか。二十字以上二十五字以内でまとめて書きなさい。ただし、「嫌いな作業」、「楽しく」という二つの言葉を使うこと。

問六 虚を突かれたような学の表情⁶とあるが、このときの学の気持ちとして最も適切なものを、ア〜エから選び、符号で書きなさい。

ア 怒り イ 驚き ウ 恐れ エ 悲しみ

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して
掲載を控えています

います。

「人生を豊かにする学び方」(汐見稔幸)による。

(注) おみそ力の弱い者の意。さもしい心がいやしい。

問一 [] に入る最も適切な言葉を、ア、エから選

び、符号で書きなさい。

ア たとえば イ けれども

ウ そのうえ エ あるいは

問二 1 と同じ意味・用法の「と」を、ア、エから選び、符号

で書きなさい。

ア 私は妹といっしょに勉強した。

イ 二人で取り組むと勉強がはかどる。

ウ 姉が帰ってきたと妹が教えてくれた。

エ 姉と妹のどちらも勉強熱心だ。

問三 2 共同的な危機管理能力が培われていきます とあるが、

筆者が考える共同的な危機管理能力が培われる方法として、最も適切なものを、ア、エから選び、符号で書きなさい。

ア 失敗すると分かっている状況でも、あえて失敗を見守り、自立を促し合うことで培われる。

イ 困難な状況でも、協力して助け合いながら危機に立ち向かうことで培われる。

ウ 集団に危険が迫っている状況でも、自分自身の安全を優先することで培われる。

エ 周囲と考えが合わず孤独な状況でも、信じたことを一人でやり遂げることで培われる。

問四 3 文化 とあるが、次の [] 内の文章は、文化は

どのように生み出され、作り上げられるものであるかについて、本文を踏まえてまとめた一例である。 [] A

[] B に入る最も適切な言葉を、それぞれへ内から抜き出して書きなさい。ただし、字数は [] A

[] B にそれぞれ示した字数とする。文化は、長い時間をかけて人々が生み出した

A(六字) を、多くの人々と共有するための努力の中で生み出されたものである。この点では、文化は創造する人と、それを B(十字) とが、一緒につくりあげるものである。

問五 学ぶ⁴ことを、個人主義化してはいけません とあるが、

学んだことを教え合うことで、個人としてはどのようなようになり、集団としてはどのようなようになっていくと筆者は述べているか。「」内の言葉を使って、三十五字以上四十字以内でまとめて書きなさい。ただし、「学んだことを教え合うこと」で、個人としては「という書き出しに続けて書くこと。」

四 次
次の文章は、漢文を書き下し文にしたものである。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、問いの都合上、漢文(原文)のままの部分がある。

宋人^{そうひと}に玉を得たる者有り。諸^{これ}を司城^{しじやう}子罕^{しかん}に献^{けん}ず。
(宝石を手に入れた)

子罕^{しかん}受^うけ^けず。玉を献^{けん}ずる者^{しや}曰^{いは}く、
(受け取らなかつた)

以^い示^し玉^{ぎよく}人^{にん}、玉人以^いつて宝^{たから}と為^なす。
(これを宝石を磨く職人に見せたところ)

故^{ゆゑ}に敢^あへて之^{これ}を献^{けん}ず。と。子罕^{しかん}曰^{いは}く、
(だから思い切つて)

「我^{われ}は貪^{むさぼ}らざるを以^{もつ}て宝^{たから}と為^なす。爾^{なんぢ}は玉^{ぎよく}を以^{もつ}て宝^{たから}と為^なす。
(私は欲張らないことを宝としている(あなたは宝石を宝としている)

若^もし我^{われ}に与^よふれば、皆^{みな}宝^{たから}を喪^{うしな}ふなり。人^{ひと}ごと^{ごと}に其^{その}の宝^{たから}を
(もしそれを私にくれたら、どちらも宝を失うことになる(人それぞれが)

有^{たも}つに若^しか^かず。と。
(持っているのに越したことはない)

故に宋国の長者^{ちやうじや}曰く、「子罕^{しかん}は宝^{たから}を無^なみするに非^あざるなり。
(子罕は宝を無視しているわけではない)

宝とする所の者異なるなり。」と。
(宝とするものが他の人と異なっているのだ)

「新序」による。

(注) 宋人^{そうにん} 宋の国の人。 玉^{ぎよく} 宝石の総称。

司城^{しじやう} 古代中国の役職名。 子罕^{しかん} 人名。

玉人^{ぎよくにん} 宝石を磨く職人。 長者^{ちやうじや} 老人。

問一 子罕^{しかん}受^うけ^けず とあるが、子罕^{しかん}が宝石を受け取らなかつた理由を宋人はどのように考えたか。最も適切なものを、ア〜エから選び、符号で書きなさい。

ア 宋人は、子罕^{しかん}が献上された宝石は偽物ではないかと疑っていると考えた。

イ 宋人は、子罕^{しかん}が賄賂を受け取ることで罰せられることを恐れていると考えた。

ウ 宋人は、子罕^{しかん}が喜びのあまり動くことができなくなっていると考えた。

エ 宋人は、子罕^{しかん}がさらに宝石が献上されることを期待していると考えた。

オ 宋人は、子罕^{しかん}が喜んで宝を献上されることを期待していると考えた。

問二 以^い示^し玉^{ぎよく}人^{にん} は、「以^{もつ}て玉^{ぎよく}人^{にん}に示^{しめ}す」と読む。このように読むことができるように返り点と送り仮名を付けたものはどれか。適切なものを、ア〜エから選び、符号で書きなさい。

ア 以^い示^し玉^{ぎよく}人^{にん} 以^い示^し玉^{ぎよく}人^{にん}

イ 以^い示^し玉^{ぎよく}人^{にん} 以^い示^し玉^{ぎよく}人^{にん}

ウ 以^い示^し玉^{ぎよく}人^{にん} 以^い示^し玉^{ぎよく}人^{にん}

エ 以^い示^し玉^{ぎよく}人^{にん} 以^い示^し玉^{ぎよく}人^{にん}

問三 子罕は宝を無みするに非ざるなり とあるが、次の

内の文は、宋国の長者の考えをまとめた一例

である。 I 、 II に入る適切な言葉を、それぞれ現代語で書きなさい。ただし、字数は

I 、 II にそれぞれ示した字数とする。

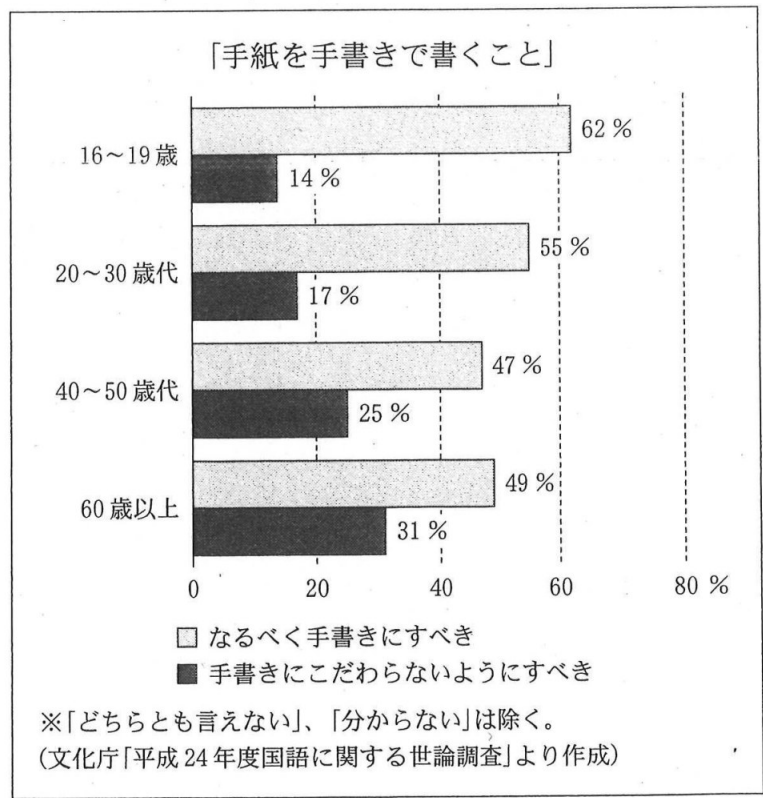
子罕は I(二字) を宝として大切にしているのではなく、必要以上に II(五字) 生き方を大切にしている。

五

下のグラフは「手紙を手書きで書くこと」についての調査で、今後、手紙(封書やはがき)について手書きで書くべきか、手書きにはこだわらないようにすべきかを尋ねた結果をもとに作成したものである。このグラフを見て、後の問いに答えなさい。ただし、内の《注意》に従うこと。

問一 下のグラフの「手書きにこだわらないようにすべき」と回答した年代別の割合の変化について、分かることを書きなさい。

問二 手紙を手書きで書くということについて、あなたは、どのように思うか。あなたの考えを書きなさい。段落構成は二段落構成とし、第一段落ではあなたの考えを、第二段落ではそのように考えた理由を、具体的な例、あるいはグラフの結果を活用して書きなさい。



《注意》

(一) 題名や氏名は書かないこと。
 (二) 書き出しや段落の初めは一字下げること。
 (三) 問一は二行以上三行以内、問二は六行以上九行以内で、それぞれ縦書きで書くこと。
 (四) グラフの数値を記入する場合は、左の例にならうこと。

(例) 百% 二十% 三十一%

国語解答

(注) ここに示した以外の細部については
学校ごとに統一する。

番 問 号	正 答	配 点	備 考
一	① けんめい ② ようせい ③ ひた ④ すそ ⑤ きせき ⑥ 洗 ⑦ 砂糖 ⑧ 運賃 ⑨ 登頂 ⑩ 費	二 各2点 計20点	
二	問一 ウ 問二 形が 問三 エ 問四 形容詞 遠い 活用形 連体(形) 問五 一緒にやることで嫌いな作業でも楽しくなる (二十字) 問六 イ	三 問一 3点 問二 3点 問三 5点 問四 各2点 計4点 問五 8点 問六 5点	四 問五 正答の一例である。
三	問一 ア 問二 ウ 問三 イ 問四 A 知恵やスキル(六字) B 評価して広めていく人(十字) 問五 知識が整理されて理解が深まり、集団としては 知識が共有されて文化的になっていく(三十八字)	三 問一 3点 問二 3点 問三 5点 問四 各2点 計4点 問五 8点	四 問五 正答の一例である。 次の二つの内容が書か れていること。①「学んだこ とを教え合うことで、個人 としては知識が整理され て理解が深まる」というこ と。②「学んだことを教え 合うことで」集団としては 知識が共有されて文化的に になっていく」ということ。
四	問一 ア 問二 エ 問三 I 宝石 II 欲張らない	四 問一 5点 問二 3点 問三 各3点 計6点	四 問三 正答の一例である。
五	問一 (略) 問二 (略)	五 問一 5点 問二 10点	五 問一 表記等に誤りがなく、手 書きにこだわらないように すべきと回答した年代別の 割合の変化について、グラ フから分かることが述べら れていること。 問二 内容(手紙を手書きで書 くということ)についてのど のように思うかとそのように 考えた理由が、具体的な 例、あるいはグラフの結果 を活用して述べられている こと。)と表記(表記等に誤 りがなく、言葉の使い方が 適切であること。)につい て、総合的に評価するこ と。
		国語 計100点	